

平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 殿

常総市長 長谷川 典子



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、日頃から道路事業に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、標記の件について、別紙のとおり意見・提案をいたしますのでよろしくお願いいたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

茨城県県常総市

常総市区域は、茨城県の南部に位置し、東京都心から40kmから50km圏内にあり、水海道区域は、首都圏において計画的な市街地の整備を図ることを目的として首都圏整備法に基づく近郊整備地帯に指定されている。また、本区域の南北を関東鉄道常総線、国道294号、東西に国道354号が貫き、今後は、首都圏中央連絡自動車道の整備が計画されており、開発ポテンシャルの向上が期待されています。

経済のグローバルの進展、アジアの急成長に伴い、人、物、情報等の移動や国際航空貨物も含めた需要動向を踏まえ輸送コストの削減、物流の効率化が企業の競争力を左右するため、物流環境の形成等が求められています。

これらのことから、圏央道や国道294号等の広域幹線道路の整備は緊急の課題であります。

しかしながら、幹線道路で、圏央道の整備は、24年度開通に向けて、整備が進められていますが、国道294号線、県道、鬼怒川ふれあい道路等は、予算不足のため、整備が計画通り進んでいないのが現状でありますので、これらの整備と右折車線が整備されていない箇所では、右折車のため渋滞が生じ交通の流れが円滑になるよう右折車線の早期整備、交差点部の立体化が必要であります。

市道等の整備においても、市単独の一般財源では、要望されている箇所に対応できない状態であります。通学路及び交通量が多い箇所については、早急な歩道の整備、歩行者が頻繁に通行する場所(駅周辺)のバリアフリー化の促進も必要です。又、都市計画道路の早期整備も必要であります。

地方の道路状況を踏まえ、地方が真に必要な道路を計画的に整備するため、補助制度を含めた十分な道路整備の財源確保を要望するものであります。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式 ②
茨城県県常総市

○現状

(1) 広域幹線道路の整備

- ・当市のほぼ中央部には、首都圏中央連絡自動車道が、平成24年度完成で計画され、(仮称)水海道ICが予定されています。
- ・国道294号が、南北に整備されています。
- ・国道354号の南北軸の道路(鬼怒川ふれあい道路)の整備促進。

(2) 幹線市道、その他の市道

- ・幹線道路については、計画的な整備と国、県道を補完する東西の道路網(北部幹線、坂手川又線)の整備促進。
- ・市の認定道路の総延長は、約1500km舗装率は、67%である。

○課題

- ・圏央道の建設促進とアクセス道路の整備促進。
- ・交通量の増加に伴い、国道294号の4車線化など早期高規格化。
- ・国道354号以北の早期の整備促進。
- ・鬼怒川が市を東西に分断しているので、国・県道を補完する東西を結ぶ道路網の国庫補助事業費を投入して計画的整備。
- ・生活基盤としての生活道路は、財源不測のため要望に対応しきれない状況であるので、国庫補助事業費を投入して着実に整備する必要があります。
- ・学校周辺の通学路については、歩道の整備が遅れており、通学路の危険解消を着実に進めていく必要があります。

②－2 地域の目指すべき将来像

茨城県県常総市

圏央道の建設をはじめ、広域的な交通交流を活発化する幹線道路網の整備、鬼怒川及び小貝川による東西交通軸の不足の解消や、市全域の道路交通の円滑化、防災、安全を重視した交通網の形成。

(1) 広域連携

広域及び周辺都市・地域との連携を確保するネットワークとして、自動車専用道路及び地域高規格道路等の路線(首都圏中央連絡自動車道、国道294号、国道354号バイパス)を位地づけます。

(2) 地域・都市内連携

周辺都市・地域・都市内の市街地・拠点を連携するネットワークとして、国・県道、幹線市道を位置づけます。

(主な対象路線)

・南北方向

主要地方道谷和原筑西線、鬼怒川ふれあい道路、主要地方道取手豊岡線、県道鴻野山豊岡線、県道下妻常総線等

・東西方向

国道354号、主要地方道土浦境線・つくば野田線、県道土浦坂東線、(仮称)北部幹線、(仮称)坂手川又線、つくば下総広域農道等

道路整備の促進には、市及び県事業のみでは限界があり、国からの事業費の投入や今までより柔軟かつ簡易な補助体制が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

茨城県県常総市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	
(例) ・地域活力の向上	首都圏中央連絡道の開通やIC等の設置。	高速交通体系が実現し、都市間移動時間の短縮や国際空港へのアクセス時間が大幅に短縮。訪れる人々の増、輸入貨物等の国内物流が活発化する。 企業立地、市場拡大、生産活動等の活性化が図られる。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	事故の多い交差点の改良、信号機の設置、歩道の設置等。	交通事故件数等の減少。	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	駅・旅客施設・福祉施設・商業施設・都市公園等の段差の解消。	駅や電車、バス、歩道などのバリアフリー化が進み、高齢者、障害者、妊婦をはじめ誰もが、安全で安心して施設を利用できる。	